こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 371-9164 自宅☎(F 兼)691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp

２０２０年９月１３日

市役所前で訴え、署名提出・申し入れ

８月２７日、「敬老乗車証を守る連絡会」の皆さんが、市役所前で街頭宣伝（写真上）。その後、前回以後に集められた署名を、京都市宛て、提出（写真下）。「見直さないこと」と申し入れ。井上議員をはじめ、共産党各市議も激励。市審議会では「お金がかかる」一辺倒の議論が続けられています。

見直すべきは、敬老乗車証ではなく、審議会の存在自身!?

だったりして

審議会、正体見たり 財政危機 口実にして 値上げ切り捨て民間化

この二ュース８月９・16日合併号で既報の通り（再発行ご希望の方は井上議員迄）、「京都市行財政審議会」が発足、今後、７回ほどの予定のうち、これまでに２回の会議が開かれています。委員は、市長が依頼した大学の先生などです。「財政危機の折、支出を減らし収入を増やす方法を考えてほしい」というのが市長の依頼（諮問）の内容です。来春、答申（審議会の結論）発表の予定です。何の権限があるのか、議論の内容を来年度市予算にも生かす、とのことです。

市は下表のような資料を配り、これを見ながら、委員の先生たちが、「敬老乗車証の見直しを」等と発言されたりしています。

関連して、市の部内資料でも「財源創出の切り口」と称して、「使用料・手数料・減免制度・補助金等の見直し」「業務の効率化、コスト削減」「民間活力の活用」等々の項目が挙げられています。

「財政危機」に名を借りて、リストラ方針を決める「審議会」の正体が、いよいよ明らかになってきたと言うべきでしょうか。

市の資料「市独自事業の例」

市独自の保育料軽減
市独自の保育士加配
保育所職員の処遇改善
子ども医療費助成
老人医療費助成
障害者医療費助成
学童う歯対策
国民健康保険料軽減
敬老乗車証・福祉乗車証
上下水道事業繰り出し金
バス・地下鉄繰り出し金
文化事業

※ 市はこういう資料を出して「見直し」を誘導

最近の相談から

◎遺言の書き方や保存の方法等について。

◎遠方の身内が亡くなり、僅かですが相続がありそうです。現地の司法書士さんから手紙が来ましたが、どう対応すればいいですか。

◎任意継続被保険者であった母が亡くなりました。葬祭費請求の手続きは？↓職場を退職されて市の国保ではなく任意継続を選択されていたのですね。職域保険の場合は埋葬費と言いますが、烏丸六角の協会けんぽの事務所へ行って請求します。行くのが困難な場合、簡単な委任状を書いて頂ければ井上議員が行ってきます。

◎遠縁の者が島根県に居て、融資の件で相談に乗ってもらいたいとのことだが。↓井上議員が現地の共産党事務所・地元議員へ連絡、紹介して対応して頂くようにお願いしました。

◎お隣との境界の問題。

◎道路の補修。街路灯の改善を。

◎遠方に住んでいる知人が、京都の借家を拠点に骨董品売買。家賃補助をお願いしたいが。

◎市営住宅の申込↓井上議員から応募用紙を届けています。書き方不明の場合、同議員迄。